

本年度の重点

●ヘルメット着用の向上

平成31年度（令和元年度）も、ヘルメット着用の向上を一番に挙げる。学区内は交通量の多い地域であり、交通安全にはこれまで以上に力を入れなければならない。津山東中学校区内の小学校でも着用率は低い方である。そこで、家庭でも事故の恐ろしさを子ども達が認識できるように話をして、併せてヘルメット着用の向上を目指す。

具体的には、教育補助費を活用し、昨年度に引き続き、3年生全ての児童にヘルメットを配布し（配布時期は1学期中を予定）、ヘルメットの着用率を上げていきたい。また、従来どおり1～6年生へのヘルメット購入500円助成についても引き続き取り組んでいきたい。さらに、ヘルメット着用率向上のため啓発活動やスポーツ少年団とも連携していく。

●早寝・早起き・朝ごはんの取り組み

「早寝・早起き・朝ごはん」は基本的生活習慣の基盤である。このことが各家庭で行われることで子ども達が学校でも家庭でも充実した生活ができると考えられる。また、長時間のメディア（TV、スマホ、ゲーム等）の視聴を減少させることにもつながる。

具体的には、昨年度学校で実施している「うさかめカード」を活用し、早寝・早起き・朝ごはんの項目を追加し各家庭で取り組んでいく。

●メール配信の変更

現在、各種連絡については「ウサギメール」を活用して行っている。加入率も上がり平成30年度末には95%を超える家庭が登録しており、各種連絡が素早くPTA会員に届けることができている。しかし、これを維持していくためには年間35,000円以上の経費（使用料、更新料等）がかかる。

そこで、他の学校も利用している「げんぼくんメール」に今年1年かけて移行していく。このメールは「ウサギメール」同様の機能があり、津山市や津山市教育委員会が行っているため使用料は無料であるとともに、登録の仕方で火災情報等も配信される。

今年度中はウサギメールとげんぼくんメールの併用で各種連絡をおこない、令和2年度からげんぼくんメールに完全移行する。

●各種行事への子ども達の参加

運動会の準備、奉仕作業（現在6年生の参加を呼びかけているが参加率は極めて低い）など先生方、保護者や地域の方々が中心で準備及び運営が行われているものが多い。

ケガの心配等の配慮は必要だが、子ども達と保護者が一緒に参加することでふれあう時間を作ることができ、また、子どもの情操教育並びに自分達の行事は自分達で作っていくことにより学校への愛着が湧くと考ええる。